

第84回創元展(第55回静岡巡回展)あいさつ

この度は、第84回創元展(第55回静岡巡回展)のご盛會を心からお喜び申し上げます。創元会の皆さまが、「誠実・情熱・知性」に立脚され、新しい絵画の創造を目指し、真摯に取り組んでこられた歩みに深く敬意を表します。

2025(令和7)年は、浜松市の最上位計画である総合計画のうち、2034年度までの10年間を計画期間とした新たな基本計画がスタートします。7つの政策分野のうち、「文化・スポーツ」の文化に関する取組として、市民の皆様が豊かな文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しむ機会を提供し、学びの場として文化施設の充実を図っていきます。

このような取組を推進している本市にとって、全国規模の歴史ある展覧會が本年も浜松市において開催されますことは、大いに意義深いものであります。

本展覧會にご出品されました創造性に富んだ多彩な表現と個性豊かな作品が、多くの皆様に感動と活力を与え、これからの浜松市の文化振興の担い手として活躍されることと期待しております。

結びに、展覧會のご成功と創元会のますますのご発展を祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

浜松市長 中 野 祐 介

「静岡巡回展に寄せて」

第84回創元展静岡巡回展のご開催、誠にありがとうございます。

桜花爛漫の季節に国立新美術館にて盛大に開幕した東京本展は、一時期の閉塞感から解放され、会員一同、喜びに満ちた展覧會となりました。そして、出品された各作品は会員それぞれの意気込みが強く感じられ、実に見応えのあるものでした。また、一般出品の中にも目を引く作品が多く、未来を担う力強い兆しとして頼もしく、勇気づけられました。

我が会の綱領に掲げる「誠実、情熱、知性の三つによって中庸に立脚し、新しい絵画を創造せん」という理念の中で示される「中庸」とは、言葉を変えれば自由の原点であり、また自由は中庸の極限の意味である、と会の始祖が述べております。よって我が会は独立自尊の精神のもと、自由と独自性に富んだ作品に満ちています。

このたび、静岡巡回展は節目となる第55回を迎えられました。支部の皆様のお喜びもひとしおのことと存じます。これまでのたゆまぬご努力とご尽力に心より敬意を表するとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

また、日頃より多大なるご支援を賜っております浜松市長様、中日新聞東海本社様をはじめ、関係各位に深く御礼申し上げます。本巡回展が、静岡県の美術文化の向上と発展に寄与することを心より願っております。

一般社団法人創元会長 小 川 尊 一